



株式会社エコノス会社説明 資料

平成29年6月1日 札幌アンビシャス 証券コード:3136



- 1 会社概要
- 2 事業内容
- 3 成長戦略

1. 会社概要

1. 会社概要 2. 事業内容 3. 成長戦略



株式会社エコノス (ECONOS Co., Ltd.)

所在地	本社 北海道札幌市白石区北郷4条13丁目3-25 東京オフィス 東京都中央区新川1丁目22番4号新川ニッテイアネックス5階
設立	昭和39年3月21日 (エコノスへの社名変更：平成17年3月)
売上	39億1,838万円 (平成29年3月期)
資本金	2億1,081万円 (平成29年3月末現在)
発行済 株式数	859,398株
従業員数	544名 (社員146名 パート・アルバイト398名 平成29年3月現在:連結)
連結子会社	・マイクライメイトジャパン株式会社 ・野空乐使环保信息咨询(上海)有限公司 (和名：エコノス環境保護コンサルティング(上海)有限公司)

北海道の企業として 新しい価値を世界に発信したい。

エコロジーとエコノミーの「エコ」と、北の大地・北海道の「ノース」を
組み合わせたものがエコノスの社名の由来です。

《 mission 》

今後の地球環境の大きな変化を食い止めるためには、
多くの人々が地球環境保護へ関心を向けて実際に行動を起こすことが重要であり、
その底辺を広げるための場所と方法を提供することで、
エコロジー（環境）とエコノミー（経済）とを両立させ、
地球環境と地域経済が将来にわたって持続することが可能な社会を実現する。

リユース事業（ブックオフFC・ハードオフFC）



書籍（文庫・新書・コミックなど）
ソフト（ブルーレイ・DVD・CD・
ゲームなど）



株式会社ブックオフコーポレーション



株式会社ハードオフコーポレーション



オーディオ・テレビ・パソコン・
楽器・カメラ・ゲームなど



カード・フィギュア・
おもちゃ・プラモデルなど



衣料品・生活雑貨・
家具・スポーツ用品など



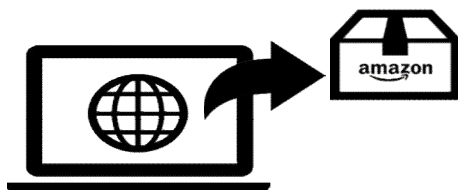
タイヤ・ホイール・カー用品・
車関連書籍・インテリアなど



EC事業・3R事業・低炭素事業・リペア事業

EC事業

ブックオフの書籍をはじめ、
様々な商品をweb販売



低炭素事業

カーボン・オフセット・プロバイダー



3R事業

各店から排出される商品を
回収し海外へ輸出



リペア事業

iPhone修理



(単位：千円)	28 / 3期 実績	29 / 3期 実績	前期比	30 / 3期 計画	前期比
売上高	4,183,174	3,918,377	6.3%	4,156,907	+6.1%
売上総利益	2,707,950	2,556,071	5.6%	2,716,199	+6.3%
販売管理費	2,580,420	2,589,797	+0.4%	2,638,759	+1.9%
営業利益	127,530	33,726	(161,256)	77,440	(+111,166)
経常利益	65,335	79,736	(145,071)	22,986	(+102,722)
親会社株主に帰属する 当期純利益	31,815	71,746	(103,561)	13,409	(+85,156)

【29/3期 実績】

リユース事業における天候不順等による売上の伸び悩み、低炭素事業における海外調査案件獲得の大きな計画下回りにより、売上高は前期比6.3%減少した。

経常利益は、前期比145,071千円減少し 79,736千円の赤字決算となった。

【30/3期 計画】

リユース事業の売上回復、低炭素事業におけるコスト削減と売上回復により、売上高は前期比6.1%増加、経常利益は前期比102,722千円増加を計画しております。

(単位：千円)		28 / 3期 実績	29 / 3期 実績	前期比
売上高		4,183,174	3,918,377	6.3%
セグメント別 売上高	リユース事業	3,698,233	3,742,465	+1.2%
	低炭素事業	481,322	163,402	66.1%
	その他	3,619	12,509	+245.6%
営業利益		127,530	33,726	(161,256)
セグメント別 営業利益	リユース事業	380,948	320,033	16.0%
	低炭素事業	2,628	110,056	(107,427)
	その他	803	8,254	(9,058)
	調整額	251,593	235,449	(+ 16,144)

【29/3期 実績】

売上高

- ・リユース事業は、天候不良等の影響により、前期比1.2%増と伸び悩んだ。また既存店舗は前期比98.7%と1.3%減少となった。
- ・低炭素事業は前期比66.1%減少と大きく落ち込んだ。

営業利益

- ・リユース事業は前期比16.0%減少した。
- ・低炭素事業の営業利益は、前期比107,427千円減少と大きく落ち込んだ。

2.事業内容

1.会社概要 2.事業内容 3.成長戦略

循環型経済社会に貢献する、身近なエコの中継点

リサイクル（再資源化）よりも身近に取り組むことができるリユース（製品の再利用）が注目を集めています。その後押しをするエコノスのリユースショップ。「不要品を売りたいお客様」と「欲しいものを手頃に買いたいお客様」を結びつける、身近で手軽に利用できる「リユース社会のインフラ」を目指します。



BOOK-OFF ブックオフ事業

中古書籍・CD・ゲーム・DVD等を取り扱う店舗



HARD-OFF ハードオフ事業

中古のオーディオ・パソコン・ビジュアル・楽器・時計等を取り扱う店舗



OFF HOUSE オフハウス事業

中古のブランド品・婦人服・子供服・家具・インテリア雑貨等を取り扱う店舗



Hobby OFF ホビーオフ事業

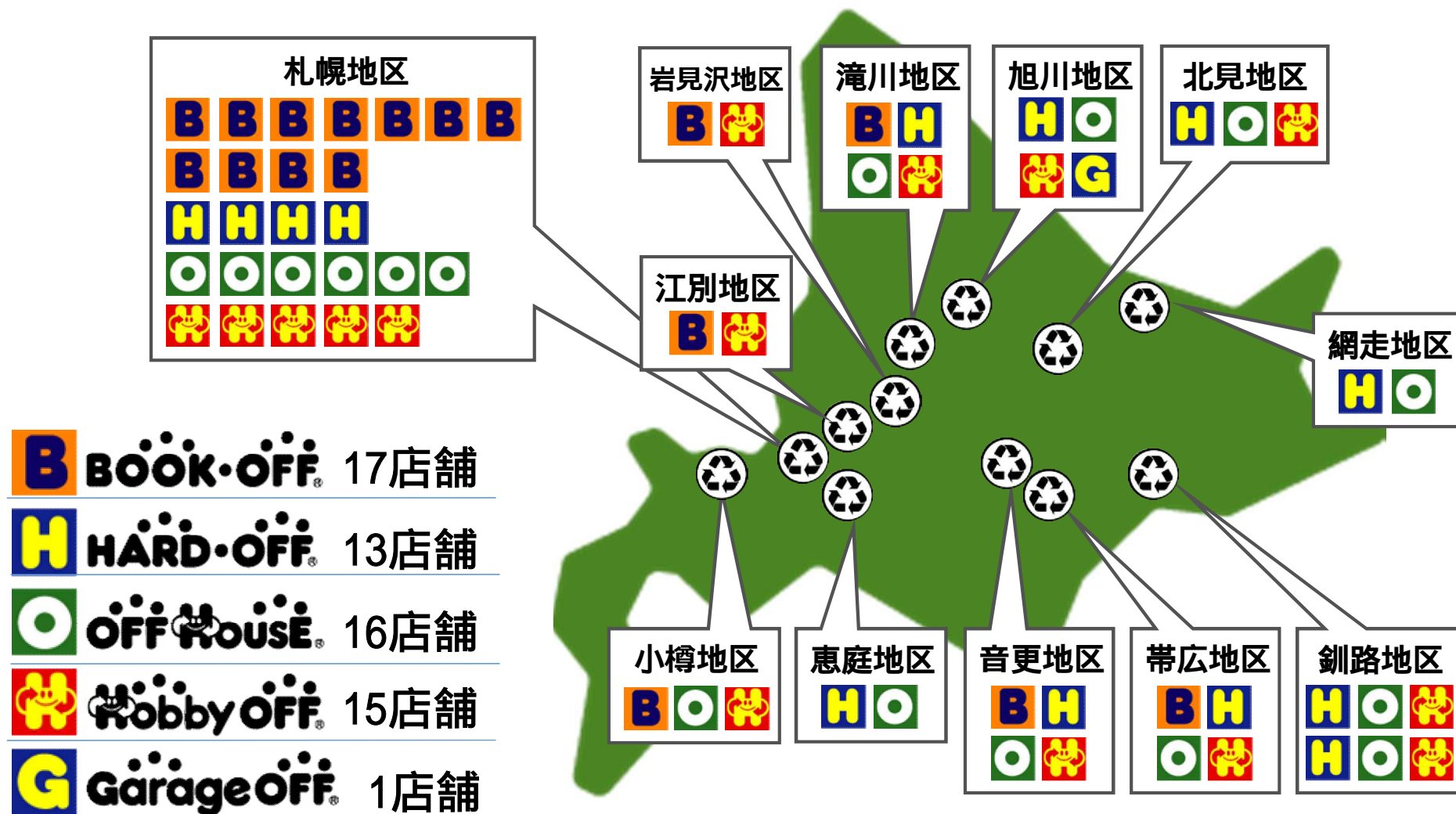
中古のホビー・コレクション・食玩・カード等を取り扱う店舗



Garage OFF ガレージオフ事業

中古のカー用品・パーツ等を取り扱う店舗

全道62店舗のネットワーク



複合大型店舗による展開



エコタウン
旭川パルプ店

ハードオフ 89坪
 オフハウス 276坪
 ホビーオフ 90坪
 ガレージオフ 53坪

**売場面積
508坪**
の複合店



エコタウン
札幌南郷20丁目店

ハードオフ 49坪
 オフハウス 209坪
 ホビーオフ 40坪
 ブックオフ 149坪

**売場面積
446坪**
の複合店

専門性を高めた業態での展開

各業態ごとに専門性を高める事で、専門的知識のもったスタッフを配置。
買取り査定精度向上による、納得感のある買取り価格の提示や取扱商品の裾野を広げています。



リアル店舗との相乗効果



今や当たり前となったインターネットショッピング。
 エコノスでは、ブックオフの商品などをAmazonを活用したり、リアルと融合したハードオフネットモールでの販売をしています。
 さらにAmazon・ヤフオク！・Yahoo！や楽天などを利用した各種商品の新品・中古品販売など幅広いネット事業を展開しています。



ブックオフエコノス店

Amazonを利用したブックオフ取扱商品のweb販売



ハードオフネットモール

ハードオフグループの商品のweb販売



Amuse Market JP

Amazon.com・eBayを利用した新品・中古商品のweb販売



えぞっこマーケット

Yahoo！・楽天を利用した北海道食材のweb販売

リユース店舗からの質の良い商品調達力

3R活動とは、3つの「R」(Reuse・Reduce・Recycle)に取り組むことで、ごみを限りなく少なくし、そのことでごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会(=循環型社会)をつくらうとするものです。

各店から排出される商品を回収し、衣料品や食器・玩具などに分別、再利用できるものを海外輸出するなど資源の有効活動に取り組んでおります。



排出される品などを各店から定期的に回収します。



品目別に仕分け・分別・梱包し、輸出できる状態にします。



衣料品はプレス機で圧縮し体積を減らし、輸出できる状態にします。



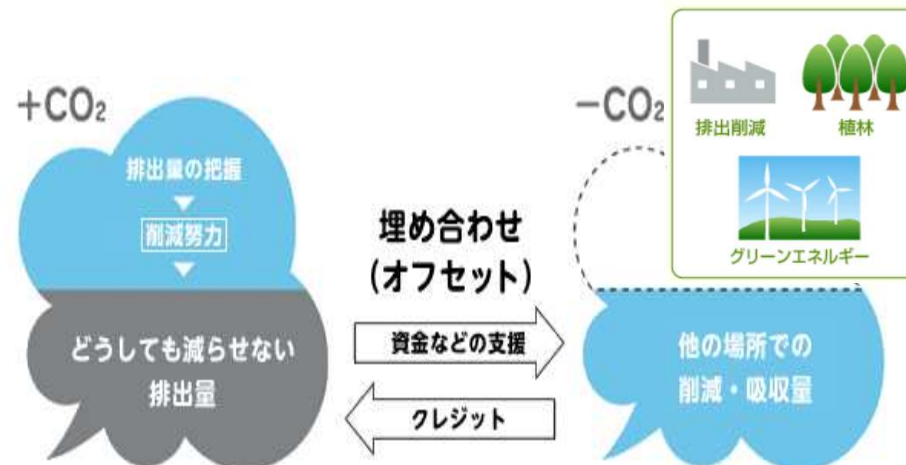
準備が出来た品物を定期的に専用のコンテナに積み込み、海外に輸出します。

低炭素事業

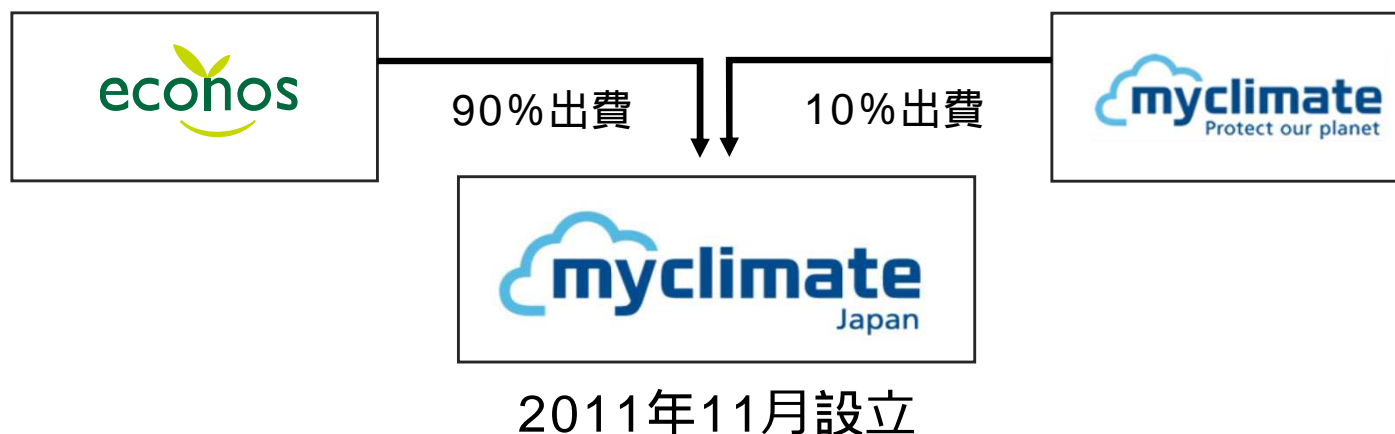
地球温暖化を防ぐための様々な温室効果ガス削減ツールを
国・自治体や企業に提案しています。

カーボン・オフセット・プロバイダー事業

急激な気候変動の緩和を目的とする
カーボン・オフセットに関して、温室
効果ガスの削減や吸収量を排出権化
するための支援や排出権売買の仲
介サービス及びコンサルティング、
二国間オフセット・クレジット制度等
における温室効果ガス削減プロ
ジェクトの調査を政府や自治体から
受託。



スイスのマイクライメイト気候保護基金との合弁により世界的ネットワークでの事業展開



「マイクライメイト気候保護基金」とは

- ・ スイスを基盤に国際的に活動を展開する非営利団体で、スイス連邦工科大学（ETH）の事業からスピン・アウトして2002年に設立。
- ・ グローバルネットワークを活用して世界10ヶ国以上で展開しています。
- ・ ノーベル平和賞を受賞したムハマド・ユヌス氏やスイス証券取引所元議長のピーター・ゴメス氏を含む最上級の後援者によって構成された委員会が、マイクライメイトの思想をサポートしています。
- ・ イギリスの調査会社ENDSから、世界170社のうち、もっとも質の高い排出権を提供するtop3社のうちの1社として評価されたカーボン・オフセット・プロバイダーです。

iPhone修理ショップ展開



iCracked (アイクラクト) は、2010年に米カリフォルニア州・シリコンバレーで創業したスマートフォン・タブレット修理事業の世界最大手です。

最先端のトレーニングを受け認定試験に合格した修理スタッフ「iTech (アイテック)」はグローバルで5,000人以上。世界基準のサービスで、これまでに個人、法人を含め50万以上のお客さまに対して100万台もの修理を行ってきました。

また「2015年 米国で最も有望な企業ランキング」でも18位にランクインした急成長中の企業です。

本拠地：カリフォルニア州レッドウッドシティ

サービス地域：アメリカ、イギリス、ドイツ

創業者：AJ Forsythe, Anthony Martin

リペアを通して地球環境保護に貢献したいとの思いのもと、エコノスは平成28年9月にiCrackedの日本法人であるiCracked Japan 株式会社とパートナー契約を締結。現在札幌市内において2店舗を展開。



iCracked Store
さっぽろポールタウン
平成28年9月20日OPEN



iCracked Store
札幌ロフト
平成29年4月28日OPEN

安心の対面修理

メッセージやSNS、写真など、他人には見られたくない情報が詰まっているスマートフォンを人に預けるのは少し不安なもの。iCracked Storeではお客様にご安心いただけるよう、修理は対面カウンターでお客様の目の前で行います。

高い修理品質（高い修理技術を維持するためのノウハウとシステム）

iCrackedで修理を行うのはトレーニングを受け試験に合格した「iTech」のみ。iCrackedではグローバルで行われている修理データを日々蓄積しております。トレーニングはこれらの修理データを基にiTechのトレーニングプログラムが構築され行われています。

修理部材は永年保証（グローバル展開で高品質な部材を安定調達）

通常使用においてiCrackedが交換した修理部材に不具合が発生した場合は、修理時期を問わず無償で再交換を行います。また、iCrackedでは品質を維持するため製造ラインに監視システムを導入し、調達した部材も一つ一つ検品を行っています。

iCracked = 登録修理業者（お客様から安心して修理を任せいただける体制）

修理を行ったスマートフォンが電波法などの技術基準に反していないことを確認するための制度が、総務省が定める「登録修理業者制度」です。

iCrackedではiPhone5s以降の9機種全てについて制度への登録を完了しました。

さらにiCracked Store全店に電波測定器を設置し、修理が適切に行われたことを確認したうえでお客様にスマートフォンをお返ししています。

3.成長戦略

1.会社概要 2.事業内容 3.成長戦略

エコノスが目指す会社像

『ビジョナリー・エクセレント・カンパニー』

理念が全従業員に響き渡り、持続的に体現する好循環を生み、他のステークホルダーにも響かせ、企業価値を高める会社

経営理念

『全ての事業活動を通して地域社会に貢献し、
全従業員の成長と幸せを実現する』

ビジョン

『100年後の子供たちに「ありがとう！」と言われる会社になる』

行動指針

私たちは、コンプライアンスの重要性を認識し実践するための倫理規範として、以下の行動指針(4つのテスト)を掲げる。

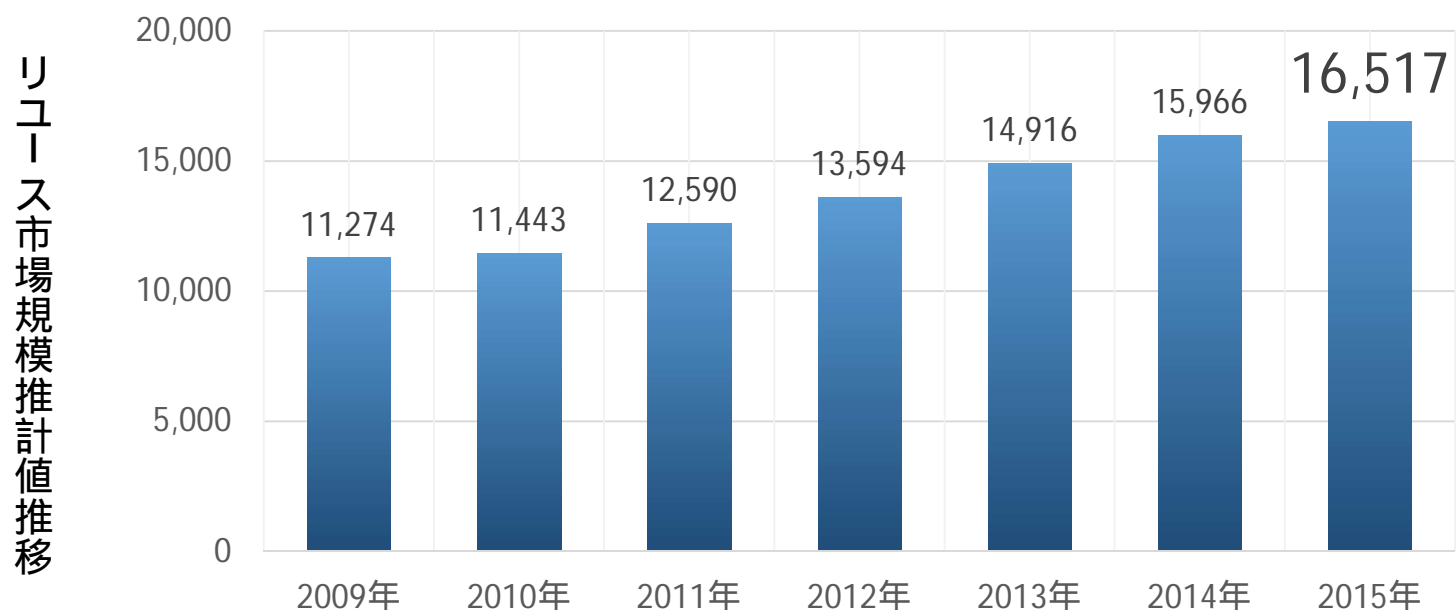
- 『1. 社会のためになるか』
- 『2. お客様のためになるか』
- 『3. 従業員のためになるか』
- 『4. 会社のためになるか』

優先順位

4条件をすべて満たしているか。

拡大するマーケット

リユース市場（自動車・住宅等を除く）の規模は、前年比3.5%増、6年連続拡大し、1.65兆円の市場規模に成長



出展 「中古ビジネスデータブック2017」

 複合業態による出店

成長力の高いオフハウス業態を中心として5業態の最適な組み合わせで圧倒的な集客力のある出店を行う。

 インターネット販売の拡大

インターネットによる販売の拡大に注力しEC事業を中核事業のひとつに育成する。

 海外輸出商品の拡大

さらなる商品廃棄費用の大幅な削減とリサイクル可能商品の東南アジアへの輸出による収益の拡大を図る。

 既存店の人材育成による収益向上

エコノス独自の人材育成制度「イントラクションデザイン～エコノスの教育体系～」を用いた人材育成を通し既存店の強化と収益力の向上を推し進める。

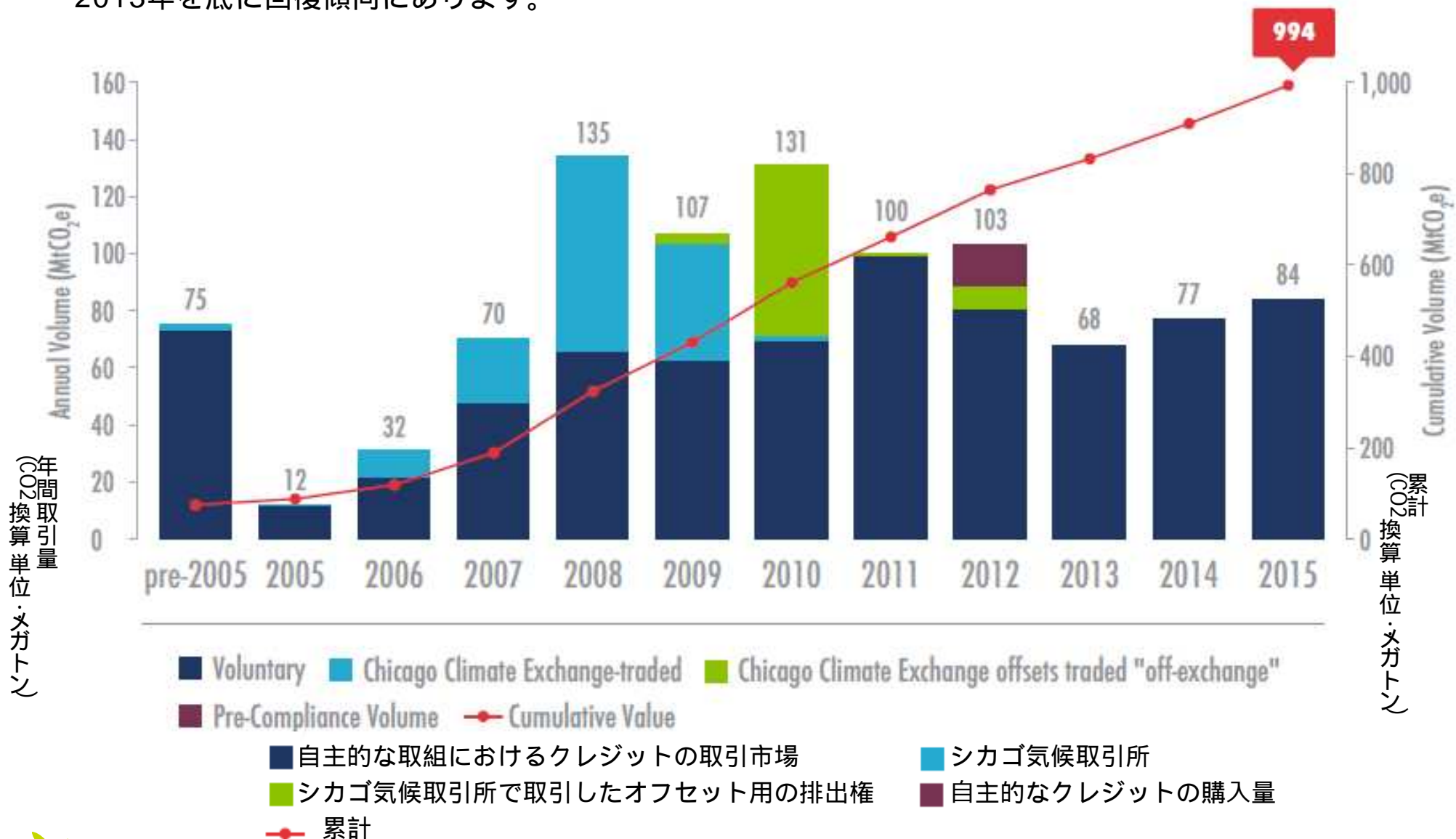
 道外への進出

東京23区を中心に道外への出店を行う。また将来的に東南アジア等、海外への出店も行っていく。

 M&Aによる更なる拡大

同一フランチャイズグループ内企業および環境関連事業の企業とM&Aの実施。

- 世界のカーボンオフセット市場は2011年のギリシャ問題以降鈍化傾向にありましたが、2013年を底に回復傾向にあります。



2016年のカーボン・オフセットに関して購入されたクレジットはCO₂トン換算で合計399,855 t-CO₂と前回2015年の調査結果の22,344 t-CO₂の約18倍となっており、国内での取引も、電力事業者を中心に需要が増加し、活性化の傾向にあります。

クレジットの種類	購入量 (単位：t-CO ₂)	
京都クレジット 注1	1,000	0.25%
J-クレジット【森林分野以外】 注2	329,150	82.32%
J-クレジット【森林分野】	81	0.02%
オフセット・クレジット (J-VER) 注3	5,388	1.35%
国内クレジット 注4	61,776	15.45%
グリーン電力証書 注5	1,000	0.25%
その他	1,460	0.36%
合計	399,855	

- 京都議定書が終了し、低迷が進んでいた排出権取引や低炭素化の動きですが、2015年のパリ合意以降、米国・欧州から再度動きが強化され、その波が日本にも及んできております。
- 特に目立つ以下の取り組みに対して、適切に対応していくことで、事業の成長を実現します。

区分

今後の見通し

RE100 注6	<ul style="list-style-type: none"> • 日本に拠点のある外資系企業からのニーズが高まる
CDP 注7	<ul style="list-style-type: none"> • CDPに取り組む大企業のサプライヤーも対応が求められつつあり、取り組む企業の裾野が広がっている
電力・ガス	<ul style="list-style-type: none"> • 環境配慮型の電力を供給している事業者が大規模な調達を推進
中国ETS 注8	<ul style="list-style-type: none"> • 今年中国全土を対象とした排出量取引制度が開始する予定
CNG2020 注9	<ul style="list-style-type: none"> • 今年、CNG2020に活用できるクレジットの種別が確定する見通し • また、myclimateがドイツ・スイス政府とCNG2020のスタンダード策定に関与を開始している
途上国展開	<ul style="list-style-type: none"> • 今後のビジネス展開とSDGsといったCSR的要素を絡めた取り組みが国・民間双方で強まっていく



海外とのネットワークや、カーボン・オフセットクレジットを創出するところから提供するまで一気通貫で実施できるサービス提供能力を生かし、成長の機会をとらえていきます。

- 注1：温暖化対策推進法（温対法）に基づく算定割合量（排出権）のこと。京都議定書で定められた手続きにより発行され、同議定書の削減目的達成のために用いられる。
- 注2：中小企業等の省エネ設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する制度。平成25年度より国内クレジット制度とJ-VER制度を一本化し、経済産業省・環境省・農林水産省が運営。
- 注3：国内における排出削減・吸収の取組みを一層促進するため、国内プロジェクト由来の排出削減・吸収量をオフセット・クレジット（J-VER）して認証するもの。認証されたオフセット・クレジットは、カーボン・オフセット（イベントや事業活動における自らの排出量を他の場所の削減量（クレジット等））に活用することを目的としている。環境省が運営。
- 注4：中小企業等の低炭素投資を促進し、温室効果ガスの排出削減を推進するため、京都議定書目標達成計画の下、運営を開始したもの。認証された国内クレジットは、主として大企業が自主行動計画の目標達成のために活用することを目的としている。経済産業省・環境省・農林水産省が運営。
- 注5：自然エネルギーにより発電された電気の実環境付加価値を、証書発行事業者が第三者機関の承認を得て「グリーン電力証書」という形で取引する仕組み。
- 注6：「Renewable Energy 100%」の頭文字をとっている。事業運営を100%再生可能エネルギーで調達することを目標に掲げる企業が加盟するイニシアチブのこと。
- 注7：カーボンディスクロージャープロジェクトのこと。世界の機関投資家が連携し、企業に対して気候変動対策や温室効果ガス排出量等に関する情報公開を求めるプロジェクトであり、世界最大のデータベースを持ったグローバルな非営利団体のこと。
- 注8：中国排出量取引制度のこと。
- 注9：Carbon Neutral Growth 2020のこと。2020年以降は航空機から排出されるCO2を削減しながら成長を目指す施策のこと。
- 注10：Sustainable Development Goals「持続可能な開発目標」のこと。2015年に終了するミレニアム開発目標(MDGs)に続く「ポストMDGs」に関連して、環境の持続可能性確保に重点を置いて検討されている国際目標。
持続可能な開発のための17のグローバル目標と169のターゲット(達成基準)からなる。

iPhoneの正規修理拠点は圧倒的に不足

	ガラケー	Android	iPhone
稼働比率	約50%	約25%	約25%
受付拠点	キャリアショップ 全キャリアで 8,000程度		Apple Store 7 Apple正規プロバイダ 95
備考	<ul style="list-style-type: none">ショップで預かりメーカー修理（修理期間は代品貸し出し）有料オプション加入者は良品交換（1～2日で自宅等へお届け）		<ul style="list-style-type: none">顧客集中で数時間待ちも発生最寄に修理拠点のない顧客も多数（都道府県内の修理拠点数） なし 7県 1店舗のみ 22県

iCrackedの世界的ネットワークと信頼&安心を武器に成長

✓ グループ出店戦略での成長

現在19店舗 100店舗（平成30年度） 300店舗

✓ 安心&信頼による集客

総務省登録修理業者、高い技術の修理人(iTech)、
対面修理、高品質部材、部材永年保証

✓ iPhone以外の端末修理

アンドロイド機種種の修理

✓ 携帯関連商品の販売

MVNO、アクセサリ、モバイル保険等の販売

✓ その他デバイスの修理

I o T、ウェアラブル端末（スマートウォッチetc）等の修理

来年度中に100店、
ブース含めれば300店



iCracked Japan
太田暁宏社長

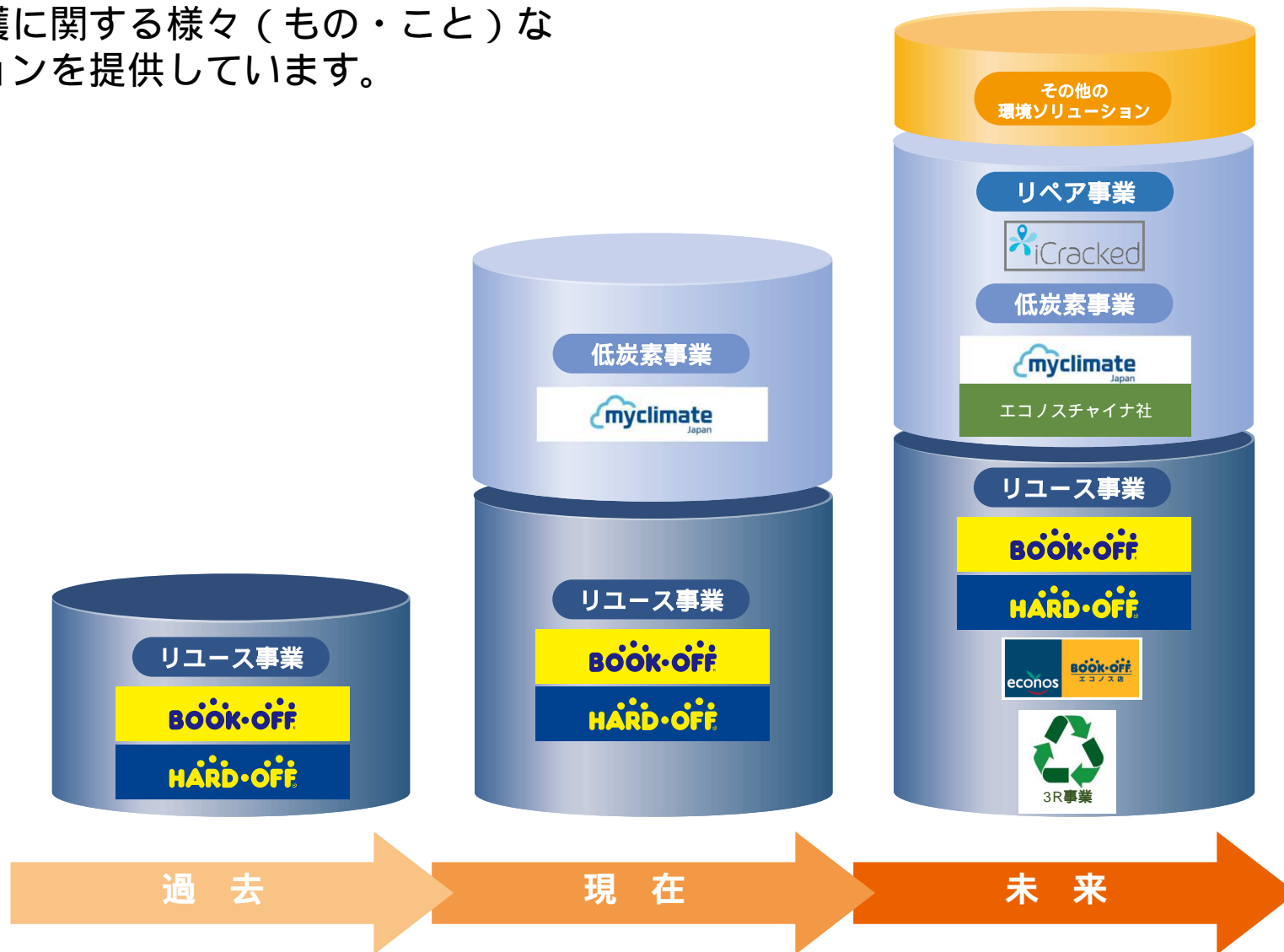
来年度中に100店を目指したいと思っています。店舗ではなく修理ブースも含めれば200~300店を見据えています。

アップルの正規修理店さんもありますが、これだけの普及台数がある中、メーカーだけでアフターフォローをするというのは物理的に難しい。我々は、第三者修理事業者としてシェアを拡大していきたいと思っています。

また、IoTやウェアラブル端末など高額で高性能なデバイスが出回っていくようになるので、ゆくゆくはその修理も手掛けるようになりたいと考えています。

出展「リサイクル通信2017.5.10掲載記事」

わたしたちは今までもそしてこれからも、時代の変化に合わせて地球環境保護に関する様々（もの・こと）なソリューションを提供しています。



エコノスグループは今後もエコに関する
様々なソリューションを提供して行きます!!

100年後の子供たちに
「ありがとう！」と言われる会社を目指して

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、
当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。



【お問い合わせ先】
株式会社エコノス
〒003-0834 北海道札幌市白石区北郷4条13-3-25
取締役副社長 新行内 宏之